

第18回企画委員会開催報告(2/19)

- ・第17回運営委員会議事次第について
 - ①産業基盤ソフトウェア検討WG中間報告
 - ②産業シミュレーション・ロードマップ検討TF中間報告
 - ③中期事業計画検討WG中間報告
 - ④正副運営委員長の任期及び交代手順について
 - ⑤ H P C I コンソーシアムの次期理事候補の推薦について
- ・第8回シンポジウムの開催実績報告
- ・イベント活動報告
 - 2015年度第3回スパコンセミナーの件
 - 第2回中小企業技術交流会の件
- ・H P C I コンソーシアムの活動状況について
- ・文部科学省のH P C 評価委員会への委員就任について
- ・ポスト「京」の基本設計評価へ向けてのコメントについて
- ・産応協・CMSI、ポスト京重点課題5・6・7合同産官学連携シンポジウム2016について

ポスト「京」基本設計評価結果に対する産業界からのコメント(2/24)

平成28年2月10日付でまとめられた文部科学省におけるポスト「京」における基本設計評価結果に対する産業界からのコメントとして下記の情報発信を行いました。

ポスト「京」への期待

現在開発が進められているポスト「京」の基本設計が完了し、この度、システムの方
向性が明らかにされました。関係各位のご尽力に心より敬意を表すると共に、産応協と
して、2020年の運用開始には大いに期待を寄せる次第です。

特に、我が国の社会的・科学的課題の解決に向け、幅広い共用に供される研究基盤と
して、LINPACK性能だけに固執することなく、実際のアプリケーションとのコデザイン
を通じ、多様な分野で高性能を実現すると共に、「京」の資産を継承し、ユーザの利便
や使い勝手の良さも追求した、バランスの取れた世界最高水準の汎用スパコンを開発す
るという方向性が明確に示されたことを歓迎します。これにより、産業界の自社設備で
は計算できない大規模現象や複雑な現象の解析を通じた、将来のイノベーションに繋
がるコンピューティング環境の実現が期待され、産応協としても微力ながらその構築に協
力していく所存です。

一方で、ポスト「京」の成果を最大化するためには、その早期実現が不可欠であるこ
とは勿論、以下の3点を並行して進めていくことも重要と考えます。

1. 多様な特徴を持つ第二階層以下のシステム整備
2. ポスト「京」や第二階層の計算機環境を最大限に生かす、アカデミアの先端的・
革新的なソフトウェアの開発
3. 上記ソフトウェアや産業向けソフトウェアの利用拡大に向けた支援環境

世界最高水準の計算機環境、先端的・革新的なソフトウェア、アカデミアと産業界を
つなぐ支援環境の整備により、多様な産業分野でオープンイノベーションを実現するエ
コシステムが構築されることを期待します。

平成28年2月24日
スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

第 17 回運営委員会開催報告 (2/25)

平成 27 年度第 2 回運営委員会は、平成 28 年 2 月 25 日 (木) 開催し、次の議案について、報告事項、審議事項を行い、異議なく承認されました。

今回は、特に第 2 号議案の正副委員長の任期及び交代手順の見直しを行い、体制移行の確認を行いました。また、第 4 号議案については、次回 5 月までに最終報告をとりまとめ、新体制での成果の承認を得ることとなりました。

- | | |
|---------|--|
| 第 1 号議案 | 前回運営委員会議事録の確認 |
| 第 2 号議案 | 正副委員長の任期及び交代手順の見直しの件 |
| 第 3 号議案 | HPCI コンソーシアムの理事交代の件 |
| 第 4 号議案 | 平成 27 年度事業活動実施報告
① 平成 27 年度事業活動全体概要
② 産業基盤ソフトウェア検討WG活動
③ 産業シミュレーション・ロードマップTF活動
④ 中期事業計画策定検討WG活動
⑤ シンポジウム開催成果実績
⑥ 実行委員会事業活動 |
| 第 5 号議案 | HPCI コンソーシアム活動状況報告の件 |
| 第 6 号議案 | ポスト「京」基本設計評価に対する意見の件 |
| 第 7 号議案 | 平成 27 年度決算見込み報告の件 |

産応協・CMSI、ポスト京重点課題 5・6・7 合同産官学連携シンポジウム 2016 開催報告

産業基盤ソフト WG の化学・材料グループにおける分野別研究会の活動の一環として、関係機関との連携により連携シンポジウムを開催しました。

「京」のプロジェクトで開発してきた多様なアプリは産業界でも利用され、成果を挙げてきており、ポスト「京」プロジェクトで実施する重点課題には、より一層我が国の産業競争力強化への貢献が求められている。本シンポジウムでは、物質科学計算の最前線の研究成果の報告と、産学官の間での情報交換によるシーズとニーズの橋渡しを促進させた。

- ・ 日程 平成 28 年 2 月 24 日 (水) 13:00~18:00 (懇談会 18:00-20:00)
- ・ 場所 ステーションコンファレンス東京
- ・ 主催 スーパーコンピューティング技術産業応用協議会 (産応協/ICSCP)
計算物質科学イニシアティブ (CMSI) (東京大学物性研究所 / 自然科学研究機構分子研究所 / 東北大学金属材料研究所)
ポスト「京」重点課題 (5) 「エネルギーの高効率な創出、変換・貯蔵、利用の新規基盤技術の開発」 (代表機関: 自然科学研究機構分子研究所)
ポスト「京」重点課題 (6) 「革新的クリーンエネルギーシステムの実用化」 (代表機関: 東京大学生産技術研究所)
ポスト「京」重点課題 (7) 「次世代の産業を支える新機能デバイス・高性能材料の創成」 (代表機関: 東京大学物性研究所)
- ・ 協賛 (公財) 計算科学振興財団 (FOCUS)
(一財) 高度情報科学技術研究機構 (RIST)
- ・ 参加者 130 名

【開催趣旨】

私たちのまわりのすべての物質は原子や分子が集まってできています。物質の性質や機能を決めているのも原子や分子です。これらの研究は今、スーパーコンピュータを活用した「計算物質科学」となり、新たな物質を社会に送りだそうとしています。計算物質科学は、これからの社会でどのような役割を果たしていくのでしょうか? 科学と社会のつながりを、参加者全員で議論してみませんか。

平成 23 年度にスタートした HPCI 戦略プログラムでは、「京」の性能をフルに活用するため、多様なアプリケーションが開発されてきました。これらのアプリケーション

の一部は、産業界の先進的なユーザにも利用されて大きな成果を挙げています。計算物質科学分野（CMSI）においても、産学官の連携による優れた成果が論文やプレスリリースで注目を集め、HPC 活用による競争力強化を産業界が強く意識する原動力と

なりました。

ポスト「京」の開発（フラッグシップ 2020）およびポスト「京」アプリケーション開発重点課題においても、我が国の産業競争力強化への貢献が重要なミッションの一つとされており、産業界における HPC 活用をより一層高度化・拡大していく必要があります。そのためには、優れたアプリケーションの産業界への普及推進が不可欠です。したがって、ポスト「京」アプリケーション開発・高効率利用に関する研究を行っているアカデミア側の研究者が、産業側の研究者・技術者の本当のニーズを知ることが重要になります。また産業界がアカデミア側でどのような研究・アプリケーション開発が進められているかを知ることにもまた重要です。このように、産学官の間で容易に情報交換できるような風通しのよい関係を構築し、シーズとニーズの橋渡しを進めることが、「京」の成果の定着およびポスト「京」のミッション達成に必要であると考えられます。

計算物質・分子科学分野における産学官のこのような情報・人的ネットワーク形成をより強固なものにするために、スパコン産応協、CMSI、およびポスト「京」重点課題 5、6、7 合同で、ポスト「京」の有効活用を見据えて下記のように産学官連携シンポジウムを開催致しました。

【プログラム】

13:00	開会挨拶	太田浩二(京都大)
13:05	産業基盤ソフト構想について	(産応協)
13:10	重点課題 5 の概要	館山佳尚 (物材機構)
13:15	重点課題 6 の概要	望月祐志 (立教大)
13:20	重点課題 7 の概要	小野倫也 (筑波大)
重点課題 5		
13:25	学官講演 (5-1)	中井浩巳 (早稲田大)
13:45	学官講演 (5-2)	中嶋隆人 (理研)
14:05	産講演 (5-3)	奥野幸洋 (富士フイルム)
重点課題 6		
14:25	学官講演 (6-1)	望月祐志 (立教大)
14:45	休憩	
15:05	学官講演 (6-2)	大野隆央 (物材機構)
15:25	産講演 (6-3)	
重点課題 7		
15:45	学官講演 (7-1)	宮崎剛 (物材機構)
16:05	学官講演 (7-2)	前園涼 (北陸先端大)
16:25	産講演 (7-3)	石田邦夫 (東芝)
総合討論		
16:45	総合討論	コーディネーターTBA
17:15	まとめ (10 分)	茂本勇 (東レ)
18:00	懇談会	

今後の予定

3/11 「京」の共用に関する評価の意見提出(文部科学省から要請)

3/14 第 19 回実行委員会開催

【産応協事務局】

事務局は「虎ノ門」に設けておりますので、お問い合わせをお待ちしております。

スーパーコンピューティング技術産業応用協議会

事務局 滝口、清

電話 03-6435-5425 Email:icscp@nifty.com